

日本木材学会ダイバーシティ推進委員会 公開シンポジウム

後援：（一社）男女共同参画学協会連絡会

ポストコロナを踏まえた 教育・研究における ダイバーシティの取り組み

参加費無料
オンライン開催

2023. 3.24. FRI 13:30~15:30

コロナ禍においては、教育、研究の様々な場面でオンラインでの対応が求められました。対面では出来ていないことができない、対話の難しさなどの問題が生まれた反面、これまではアクセスできなかった人々に参画の機会が開かれたことや移動が無くなったことによる時間の有効活用など、良い面も実感することとなりました。ポストコロナにおいてもコロナ禍の様々な取り組みを上手に活用することは、教育・研究におけるダイバーシティに繋がるのではと思います。

そこで、本年度は「ポストコロナを踏まえた教育・研究におけるダイバーシティの取り組み」として、これまでの取り組みや課題を共有し、今後に生かすことを趣旨としたシンポジウムを開催することといたしました。多くの皆様の参加をお待ちしております。

講演 1：科学の多様性を支える しくみについて

並木重宏 東京大学先端科学技術研究センター

性別、人種、障害、生活状況、経済状況など、社会のさまざまな場面で多様性を重視する動きが広がっています。ここではまず、科学分野で多様性が求められる理由について考えてみます。次に、科学分野への社会的マイノリティの参加を支援するための取り組みや制度について取り上げます。また、障害のある人の科学への参加を支援する先行事例をまとめ、最後に当研究室の現在の取り組みをご紹介します。



講演 2：オンラインで行った学生実験の紹介

前田 啓（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所 木材改質研究領域

講演 3：多様性とコロナ禍の研究、講義や実験等について

木村彰孝 広島大学大学院人間社会科学研究所

申込先

Dsympo2023@ml.affrc.go.jpへ「氏名・ご所属」を記入のうえ送信してください（締切 3月22日正午）

本掲載の
学会 HPはコチラ

※受付時の返信は行いません。参加用 ZOOM アドレスは3月23日 正午までに申し込みメールの送信元アドレスへお届けします。届かない場合は上記 アドレスにお問い合わせください。

